

鉄道総研の国際活動

(International Activities of RTRI)

【概要】

海外の研究機関・大学との共同研究や職員の派遣の支援、海外組織との交流・連携、訪問者等への対応を通じ、鉄道総研の世界的なプレゼンスの向上を目指した活動を行っております。

【共同研究】

鉄道総研の研究レベルの向上を目的に、研究者を海外の研究機関、大学等に派遣し、共同研究の推進、情報収集を行っております。

・日仏共同研究

1995年よりフランス国鉄と共同研究を実施しています。集電機器等の分野で共同研究が行われております。成果報告会として共同研究セミナーを開催しており、次回は2014年にフランスで開催予定です。

・日中韓共同研究

2001年より中国鉄道科学研究院、韓国鉄道技術研究院と共同研究を実施しています。共同研究セミナーを年に1度開催しています。昨年度は10月末に韓国鉄道技術研究院の主催によるセミナーを行いました。

・日英共同研究

2008年よりイギリスの鉄道安全標準化機構と共同研究を実施しています。主に安全評価等の分野について意見交換を実施しています。

・その他の共同研究

上記以外に、ケンブリッジ大学(イギリス)、ブリストル大学(イギリス)、チャルマース工科大学(スウェーデン)、マサチューセッツ工科大学(アメリカ)等の海外の大学とも共同研究を実施しています。



SNCFとの担当者会議の様子(2014年6月・日本)



日中韓共同研究セミナー(2013年10月・韓国)

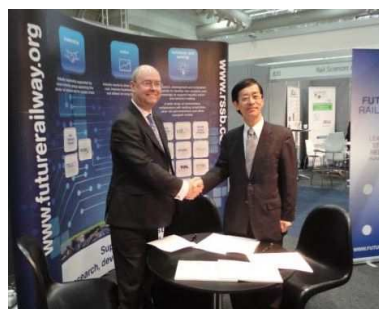
【国際会議】

鉄道に関する国際会議へ積極的に出展・参加し、情報の収集を行うとともに、職員による国際会議での論文発表等を支援しています。

2016年5月末には、イタリアのミラノで世界鉄道研究会議(WCRR 2016)が開催される予定です。これは、世界中の鉄道に関する研究者が一堂に会し、研究・開発成果を発表するものです。鉄道総研の研究者も発表する予定です。また展示会場では鉄道総研の研究開発活動を積極的に紹介する予定です。



WCRR 2013の会場の様子(オーストラリア)



WCRR 2013 展示会場の様子(オーストラリア)

【情報発信】

鉄道総研の紹介や研究開発の成果等を海外に広く発信するため、英文論文誌Quarterly Report、鉄道総研紹介パンフレット(英語)、最新の研究開発活動を紹介したニューズレター(英語)、鉄道総研の1年間の活動をまとめたアニュアルレポート(英語)を作成しています。

【その他】

<外国人研究者・実習生の受入>

共同研究やインターンシップとして、外国人研究者・実習生の受入れを行っています。最近では、インペリアルカレッジ・ロンドン(イギリス)、宇宙航空自動車技術高等工業大学(フランス)、東京工業大学大学院の留学生等を受け入れています。

<外国人の鉄道総研見学対応>

鉄道総研の研究開発を広く理解していただくことを目的に、外国人の鉄道総研見学を受け入れています。2013年度は、約310名の外国人訪問者の見学を、世界各地から受け入れました。



各種英文刊行物



イギリス人実習生による発表(2014年5月)



公益財団法人鉄道総合技術研究所

国際業務室 国際